



川口市立戸塚中学校

46期2学年通選 No.23

令和6年5月10日(全)

職業には貴賤はないが、生き方には貴賤がある

イエローハット社長はこう語る。

「掃除なんかしても無駄だ」「うちの社長は掃除しかできない」と陰で批判する者もいましたし、私がトイレ掃除をしている横で用を足していく者もいました。最初の10年間は私、独りで掃除をしていて、手伝おうという社員は1人もいませんでした。

なぜ、続けられた??

哲学者のショーペンハウエルがこう言っています。物事が成功するまでには3段階ある。第1段階は「嘲笑される」。なんだ、トイレ掃除なんかして、と。これが始まり。第2段階は「反対される」。誰もやれと言っていないのに抵抗するのです。その段階でバカバカしくなり、やめてしまう。こんなことやったってしょうがないという気持ちになる。

でも、そこを乗り越えると、第3段階は、笑いものにしたり、反対したりしていた人がいつの間にか「同調する」。そんなこと、とっくにわかっているよ、と。

そうして初めて物事は成功するとショーペンハウエルは言っています。

どの物事にも同じことが言えるのではないのでしょうか??

朝、公園の掃除をしているときに、マラソンをしている人が通っていきました。

「はぁ、はぁ、…」と息を切らして熱心ですが、それは自分のことだけに熱心とも言えず。

熱心な人であっても、立派な人とは言えない。

もし、その人が、マラソンもするけど落ちていたゴミも拾ったら、立派な人になるのです。

とも、イエローハット社長は語っていました。



ひとつ
拾えば、
ひとつだけ
きれいに
なる

心を洗い、
心を磨く、
生き方

山崎 秀三郎
著